

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 11 月 27 日	担当部署	産業観光部 産業振興課
-------	-------------------	------	-------------

※以下は平成 30 年 6 月 30 日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人等名称	株式会社 よしかわ杜氏の郷				
代表者名	代表取締役社長 土橋 均				
	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤				
	<input type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input checked="" type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市吉川区杜氏の郷 1 番地				
設立年月日	平成 11 年 3 月 21 日	資本金	184,150 千円	市出資割合	82.6%
設立目的	酒米の生産と地酒醸造による消費者との結び付きにより地域農業の発展、農家所得の向上を図るため。				

## 3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1	—	—	—
	非常勤	4	1	5	4	—	1	—
	計	5	1	6	5	—	1	—
職員	正職員	—	—	5	5	—	—	—
	臨時職員	—	—	2	2	—	—	—
	パート職員等	—	—	3	3	—	—	—
	計	—	—	10	10	—	—	—

## 4 主な事業

(1) 酒類の製造・販売
(2) 道の駅よしかわ杜氏の郷の管理運営
(3) 米穀類、山菜、きのこ及び農水産物の集荷及び加工、販売並びに研究開発
(4) 四季菜の郷（区内農家が農産物等を持ち込む販売施設）の管理運営

## 5 事業実績（概要）

- 第20期（平成29年度）の営業収益（売上高）は、前期との比較で173千円増（0.2%増）の92,445千円となりました。
- 主力である酒造部門の売上高は、前期との比較で2,757千円増（3.9%増）の73,766千円となりました。清酒業界における出荷数量の継続的な減少という厳しい事業環境ではありますが、ロンドン酒チャレンジ賞で銀賞受賞の「よしかわ杜氏 吟醸酒」、全国燗酒コンテストで金賞受賞の「特別純米酒」をはじめとする各種受賞酒、市所有の雪室に貯蔵し新たに商品化した「雪中熟成酒」等を中心に、積極的な販売活動を行いました。また、催事やイベントへの出店について個別の収支を検証した上での参加の見極めや、年間の安定的な売上確保に向けたルートセールスを強化するとともに、数年前に製造した過剰在庫品の一括販売に取り組んだことで、売上高は前年に比べ微増となりました。
- 売店部門の売上高は、前期との比較で109千円増（1.0%増）の11,503千円となりました。前期に引き続き、鶴の浜温泉旅館と連携した宿泊客の誘客や観光会社への営業展開、定期的なイベントの実施及び商品陳列の見直し等を進めたところ、売上高は前年に比べ微増となりました。
- 営業費用は、前年との比較で5,876千円増（6.1%増）の102,391千円となりました。売上原価は、在庫の適正化に向け、過剰在庫品を製造原価に近い額で一括販売したため、前期との比較で7,160千円増（12.5%増）となりました。販売費及び一般管理費では、電気料金の削減、旅費や人件費等の全面的な見直しを行い、前期との比較で1,284千円減（3.3%減）となりました。
- この結果、営業損失は9,947千円、最終的な当期純損失は8,531千円となり、3期連続の単年度赤字を計上し、第20期末の累積欠損金は72,357千円となりました。

### ○ 部門別売上高実績

（単位：千円）

区 分	第18期 （平成27年度）	第19期 （平成28年度）	第20期 （平成29年度）
酒造部門	73,716	71,009	73,766
アイス部門 <sup>※1</sup>	3,464	2,337	—
売店部門	14,589	11,394	11,503
その他 <sup>※2</sup>	7,287	7,532	7,176
合 計	99,056	92,272	92,445

※1 アイス部門は、第19期途中で自社製造を取り止めたため、第20期から部門を廃止しました。

※2 その他の内訳は、市からの委託料や農産物販売所よしかわ四季菜の郷の管理料などです。

### ○ 店舗利用状況

（単位：人）

区 分	第17期 （平成26年度）	第18期 （平成27年度）	第19期 （平成28年度）
店舗利用状況	13,257	12,589	11,469

## 6 財務状況

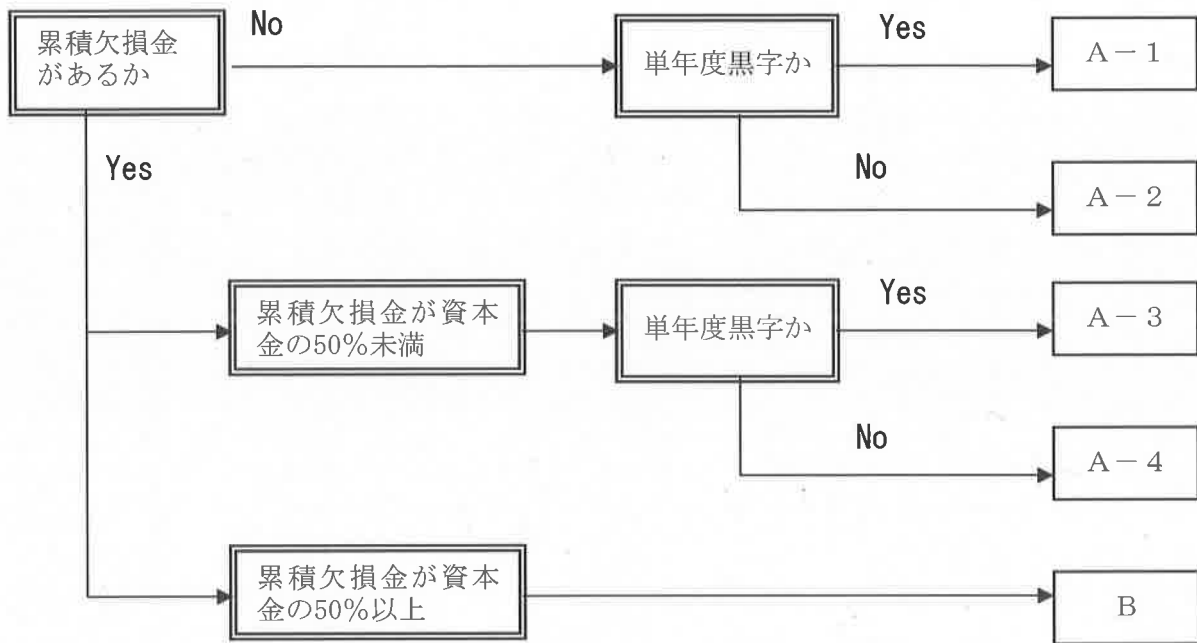
(単位：千円)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備 考	
	自 平成 27 年 7 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日	自 平成 28 年 7 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日	自 平成 29 年 7 月 1 日 至 平成 30 年 6 月 30 日		
損益計算書	営業収益 (売上高)	99,056	92,272	92,445	
	営業費用	105,092	96,515	102,391	
	売上原価	63,670	57,226	64,386	
	販売費及び 一般管理費	41,422	39,289	38,005	
	営業利益	△6,036	△4,243	△9,947	
	営業外収益	982	805	1,781	
	営業外費用	456	379	75	
	経常利益	△5,510	△3,817	△8,241	
	特別利益	0	0	0	
	特別損失	0	250	0	
	税引前当期純利益	△5,510	△4,067	△8,241	
	法人税等	290	290	290	
	当期純利益	△5,800	△4,357	△8,531	
項 目	平成 28 年 6 月 30 日現在	平成 29 年 6 月 30 日現在	平成 30 年 6 月 30 日現在	備 考	
貸借対照表	資 産	141,683	136,744	126,135	
	負 債	17,002	16,421	14,342	
	純資産	124,681	120,323	111,793	
	資本金	184,150	184,150	184,150	
	剰余金・欠損金	△59,469	△63,827	△72,357	
	その他	0	0	0	

※端数処理の関係から、一部、数値が一致しません。

## 7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-4
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

3期連続単年度赤字となった要因は、売上高が減少傾向にある一方、経費縮減等の取組が緒に就いたばかりであり、現状では、十分な成果につながっていないためです。

資本金が多いが、累積欠損金の増加に歯止めがかからない状況です。

第3セクターとして酒造りを続ける目的や意義を改めて明確化し、年間の安定的な売上確保に向けたルートセールス等を強化する必要があります。

## 8 市の関与の状況

### (1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	道の駅よしかわ杜氏の郷委託料	3,237	3,237	3,237	
計		3,237	3,237	3,237	

### (2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	296	上越市雪室商品等開発支援事業補助金
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		0	0	296	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

第 21 期は、決算期を 6 月末から 3 月末へ変更することに伴い、9 か月間の決算となるため、営業収益（売上高）は前年との比較で 22,082 千円減（23.9%減）の 70,363 千円、当期純利益は 347 千円を目標とします。

良質な日本酒の製造はもちろんのこと、ラベル・器などを見直し、視覚に訴える商品構成等に取り組みます。また、酒蔵と店舗を一体的に経営している強みを生かし、来場動機を高める定期的なイベントの開催や、立ち寄り者数の増加に繋がる旅行会社への営業を強化し、今後の経営基盤の確立に向けた取組を行います。

- (1) 安定的な取引基盤の確立 … 生協等の組織団体や卸会社・小売店への販売強化、ファンの形成 など
- (2) 新たな需要開拓に向けた企画立案 … 企画商品の造成、販売先の開拓 など
- (3) 店舗売上向上の推進 … 立ち寄り団体の集客、イベント開催及び情報発信 など
- (4) 情報の発信 … リアルタイムの情報発信、ネットショップの充実、メディアへの告知 など
- (5) 組織の活性化 … 社員間の連携と情報共有、損益計画目標に対する検証と実行 など

#### 【各部門売上目標額】

酒造部門	58,500 千円
売店部門	8,200 千円
その他	3,663 千円

### (2) 中長期経営計画

あり



## 株式会社よしかわ杜氏の郷 第20期営業報告について

今期の国内景気は緩やかな回復傾向で推移し、今後も堅調な海外景気や非製造業の投資需要の高まりを背景に、官民あげたオリンピック需要も本格化することから内外需要共に景気回復が続くと予想されます。しかしながら、地方経済においては相変わらず消費が低迷し全体として弱い動きとなっています。

國酒である清酒業界を取り巻く環境は、昨今の食生活の多様化、欧米文化に加え、少子・高齢化による飲酒人口の減少、酒類間競争の激化、消費者の低アルコール志向等で依然として厳しい状況にあります。

清酒の全国の出荷数量は、10年前 717,520KL であったものが平成 29 年は 527,561KL と 26%減少しています。新潟県においては全国より減少率が低いながらも10年前と比べ16%減の 42,636KL と需要の減少に歯止めが掛からない状況であり、前年対比でも 98.4%と依然として厳しい事業環境でありました。

弊社も同様に売上は10年前のピークから減少傾向にあり、このような状況の中「越後杜氏の技」「地元吉川産の酒米」「尾神岳から湧き出る良質な水を使用」した酒造りに努め、酒の器及びラベルを一部見直したほか、道の駅と連動した観光酒蔵の特徴を最大限活かし、店舗内の商品陳列の見直しや酒との関連土産品の販売、酒造り工程から出る副産物を有効活用した、「酒粕パウダー」「酒粕入りパン」「梅酒ジェラート」等を開発し、店舗への来場動機の向上による販売に努めました。

また、団体集客のため長野県を中心に旅行会社への営業活動や鶴の浜温泉旅館・ホテルに酒蔵のチラシの部屋置きを依頼して店舗への誘導を図りました。

今まで、全国のデパートや道の駅等で試飲販売を数多く出店し成果を収めてきましたが、昨年に続き個々の催事の収支を検証し、利益優先の出店を行いました。

また、あわせて地域へ浸透を図るため、店舗イベントを年5回・フェアを2回実施し、近隣へのチラシ折込みやメディアへの情報提供を行ったほか、引き続

き市内・県内での売上確保のため、ルートセールスを強化し、県内のホテル、スーパー、居酒屋等新たな販売先を確保することができました。

ホームページについては、新着情報をトップページで随時更新を行い、集客増化に努めると共にネット通販を強化しました。

酒自体の商品価値を高めるため、市が設置した雪室に純米酒と純米吟醸酒を800本貯蔵し、雪中熟成酒として販売し好評を得ました。あわせて実験的に純米梅酒も3か月間貯蔵した結果、香り、味ともに好結果を得ることが出来、来期への販売増加に期待を持てる結果となりました。

年間を通して安定的な量を販売できる新たな取引先を確保するため、商社及び大手ネット通販会社と契約することができ、酒部門の売上の増加に結びつきました。

地元の酒米と水を最大限いかして酒の品質の向上に務め、その結果、全国の清酒コンクールにおいて複数受賞し、消費者の購買意欲に結びつけることが出来ました。

しかしながら商社との取引で価格が抑えられ、利益率が低かったことと、他の酒蔵は、問屋を通しての販売が圧倒的に多い中、セールスが問屋の取引に結びつかず、販売網の厳しい現実を打破するまでに至りませんでした。

売上が前年並みの92,444千円となったのは、商社及びネット通販が大きく伸びる中、昨年まで上位を占めていた地元団体・生協が減少した事が主な要因です。

売上が伸び悩む中、旅費・人件費等、販売費や一般管理費の全面的な支出見直しを行い、昨年対比△1,500千円の削減を行いました。施設設備が20年経過し蔵内設備を中心に経年劣化が進んでいることから、年々修繕費が嵩み、来期以降も修繕費が増加するものと考えられます。

また、3~4年前の在庫酒の品質低下の懸念から原価に近い価格で販売処理したため損益では、9,947千円の営業損失となりました。



## (1) 酒部門

売上は、73,765千円と前年比では103.9%と上記でも記載したとおり、数年前の純米酒及び普通酒の在庫が15,000Lあり、品質管理に限界があることから、全国へ展開している商社に原価に近い価格で販売依頼をして今までの在庫計上していたものを処理しました。そのため、酒の限界利益率は昨年66.8%であったものが54.1%と利益率の減少が大きくなり、会社全体の損益に影響しました。

しかしながら、前期（第19期）の酒の販売量は56,208Lで在庫は71,513Lでありました。今期は売却可能な品質のうちに16,000Lを売却して現金化したことにより当期損失となりましたが、在庫は55,617Lと品質劣化が懸念された過剰在庫を整理し、1年間の販売量相当である適正在庫量となり、来期以降の仕込みは数年前の55,000～60,000Lに戻すことによって利益率が安定化することになります。

催事・イベント等の売上は<表-1>のとおりです。前期比では同額と、催事では減少はしたものの、数年前の在庫販売と店舗の陳列改装と共に店舗に面した県道からの導線に蔵元をアピールした旗を設置し、店舗改装後に来場が増加したことにより、大きな売上減少とはなりませんでした。

ロンドン酒チャレンジ賞で「よしかわ杜氏吟醸酒が銀賞」、全国燗酒コンテストで「特別純米酒」が金賞、上越酒造研究会で「大吟醸酒」が第1位を受賞し、地元の酒として親しまれ根強いファンが多い反面、県外での知名度は不十分と言えます。今後も受賞を前面にアピールした販路拡大に努めて参ります。

酒類及び販売先別の売上は<表-2>のとおりです。全国的傾向と同様に純米と吟醸系が伸びていると言えます。その他酒が32%と昨年より比率が低下し、品種別在庫を精査して仕込み量を整理したことで数年前の在庫酒の処理が実績に現れています。

販売先別では、これまでの地元団体・生協が減少し、イベント・催事、通販・商社が上位を占めましたが、お客様への商品提供力を高め、例年の売上を確保することが重要と言えます。

しかしながら、まだ小口の売り先が 40 店舗あることから売上対効果を検証し、今後の営業活動に生かすことが必要です。

例年とほぼ変わらず自社店舗での販売が 26%を占め最も多く、利益率の高い店舗売上をもっと伸ばすため、道の駅全体として集客するための連携が重要となってきました。

<表-1> 催事等出店実績

金額千円

<表-1>		催事・プロモーション販売実績> 2017年7月~2018年6月												金額千円	
		7		8		9		10		11		12			
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
2017	大新潟まつり実行委員会	0	0	0	0	1	1,239	1	811	0	0	2	1,132		
	試飲販売会	7	1,764	5	283	3	355	3	474	5	947	6	515		
	イベント	1	600	1	1,554	0	0	2	974	0	0	0	0		
	計	8	2,364	6	1,837	4	1,594	6	2,259	5	947	8	1,647		
		1		2		3		4		5		6			
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
2018	大新潟まつり実行委員会	1	2,603	0	0	2	2,156	0	0	0	0	0	0		
	試飲販売会	3	235	3	278	2	186	2	300	4	481	5	336		
	イベント	0	0	0	0	2	859	0	0	1	1,531	0	0		
	計	4	2,838	3	278	6	3,201	2	300	5	2,012	5	336		

<表—2>

酒類別売上表(比率順位順)

	商品名	売上(千円)	比率
1	よしかわ杜氏大辛口	13,659	19%
2	天恵楽純米酒	10,129	14%
3	純米大吟醸酒	6,700	9%
4	よしかわ杜氏普通酒	5,716	8%
5	天恵楽大吟醸	5,093	7%
6	天恵楽純米吟醸酒	4,667	6%
7	天恵楽特別純米酒	4,017	5%
8	その他9品種	23,784	32%
	合計	73,765	100%

同上位販売先

	販売先	売上(千円)	比率
1	自社店舗	20,285	28%
2	イベント・催事	10,620	14%
3	生協	7,544	10%
4	通販・商社	7,211	10%
5	酒卸問屋	5,511	8%
6	県内道の駅直売所	3,812	5%
7	県内ホテル	3,253	4%
8	その他約40先	15,529	21%
	合計	73,765	100%

(2) 売店部門

全国的に土産物店の来場、売上が落ち込む中、観光酒蔵の特性を生かして定期的にイベントを開催し、来場動機付けを行い、来場者に分かりやすい商品陳列に努めました。酒や酒粕パウダーは、店舗のほか「上越妙高駅売店」でも販売し新幹線利用客に好評でした。

鵜の浜温泉旅館に、「観光酒蔵」としてのチラシ・パンフを新たに配置し、宿泊客の誘客促進を行いました。また、長野県を中心とした団体バスの立ち寄りが多いため旅行会社に営業活動を実施しました。

冬季間の荒天と例年の繁忙期に来場者が減少しましたが、イベント等の売上が伸びたことから売店全体の売上は11,503千円と昨年と同額実績となりました。

<店舗利用状況>

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	期合計
H28	1,289	1,868	1,117	1,093	1,006	630	232	392	415	898	1,704	875	11,469
H29	1,027	1,685	895	1,345	911	516	209	281	535	1,069	1,069	989	10,820



第 20 期

# 決算報告書

平成 29 年 7 月 1 日から  
平成 30 年 6 月 30 日まで

## 目 次

1. 貸借対照表および損益計算書
2. 株主資本等変動計算書
3. 個別注記表

所在地 新潟県上越市吉川区杜氏の郷1番地

商 号 株式会社 よしかわ杜氏の郷

---

代表者名 代表取締役 土橋 均

---



## 貸借対照表

代表取締役 土橋 均

平成30年 6月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産 (	64,505,794)	I 流 動 負 債 (	8,474,367)
現 金 及 び 預 金	12,866,404	買 掛 金	1,038,114
電 子 記 録 債 権	451,406	1年以内返済長期借入金	2,436,000
売 上 掛 金	8,162,181	未 払 法 人 税 等	3,024,563
た ぎ り 掛 卸 資 産	42,800,761	未 払 消 費 税	290,000
前 払 費 入 金	174,996	未 払 受 取 金	1,678,000
未 収 還 付 法 人 税 等	18,574		7,690
未 収 の 他 の 流 動 資 産	233		
	31,239		
II 固 定 資 産 (	61,629,123)	II 固 定 負 債 (	5,867,984)
有 形 固 定 資 産 (	61,074,926)	長 期 借 入 金	4,286,000
建 構 物	36,953,309	長 期 未 払 金	1,581,984
機 械 及 び 装 置	2,948,169		
車 両 運 搬 具	3,483,990		
工 具 器 具 及 び 備 品	2		
土 地	313,040		
リ ー ス 資 産	15,898,270		
	1,478,146		
		負 債 の 部 合 計	14,342,351
無 形 固 定 資 産 (	426,667)	( 純 資 産 の 部 )	
ソ フ ト ウ ェ ア	386,667	1. 株 主 資 本 (	111,792,566)
電 話 加 入 権	40,000	1. 資 本 金	184,150,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
投 資 そ の 他 の 資 産 (	127,530)	3. 利 益 剰 余 金 (△	72,357,434)
投 資 有 価 証 券 金	50,000	(1) そ の 他 利 益 剰 余 金 (	-72,357,434)
出 資 資 金	60,000	繰 越 利 益 剰 余 金 △	72,357,434
リ サ イ ク ル 預 託 金	17,530		
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
III 繰 延 資 産 (	0)	III 新 株 予 約 権 (	0)
		純 資 産 の 部 合 計	111,792,566
資 産 の 部 合 計	126,134,917	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	126,134,917

損益計算書

平成29年 7月 1日から  
平成30年 6月 30日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高 売上引戻り	92,880,373	△ 92,880,373 435,751	92,444,622
II 売上原価 首たな卸 期製品製造原 合期末たな卸 売上総利	7,808,775 5,960,700	44,212,925 13,769,475 42,455,450 100,437,850 36,051,618	64,386,232 28,058,390
III 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費 営 業 損 失		38,005,367	38,005,367 9,946,977
IV 営業外収益 受為受維 取替配収		78 6 1,101 1,779,689	1,780,874
V 営業外費用 支 払 利 息		74,531	74,531
経 常 損 失			8,240,634
VI 特別利益		0	0
VII 特別損失		0	0
税引前当期純損失			8,240,634
法人税、住民税及び事業税		290,000	290,000
当期純損失			8,530,634

# 株主資本等変動計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

平成29年 7月 1日から

平成30年 6月 30日まで

(単位：円)

<b>I 株主資本</b>			
1. 資本金	当期首残高		184,150,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>184,150,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金	当期首残高		-63,826,800
繰越利益剰余金	当期変動額		-8,530,634
	当期純損失	-8,530,634	<u>-8,530,634</u>
	当期末残高		<u>-72,357,434</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		-63,826,800
	当期変動額		-8,530,634
	当期純損失	-8,530,634	<u>-8,530,634</u>
	当期末残高		<u>-72,357,434</u>
株主資本合計			
	当期首残高		120,323,200
	当期変動額		-8,530,634
	当期純損失	-8,530,634	<u>-8,530,634</u>
	当期末残高		<u>111,792,566</u>
<b>II 評価・換算差額等</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>III 新株予約権</b>			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>純資産の部合計</b>			
	当期首残高		120,323,200
	当期変動額		-8,530,634
	当期純損失	-8,530,634	<u>-8,530,634</u>
	当期末残高		<u>111,792,566</u>



## 個別注記表

平成29年 7月 1日から  
平成30年 6月 30日まで

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

## 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却方法

## (1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法を採用しております。

## (2)無形固定資産

定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

## (3)リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

## 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

## II. 貸借対照表等に関する注記

## 1. 有形固定資産の減価償却累計額

146,489,305円

## III. 株主資本等変動計算書に関する注記

## 1. 発行済株式総数

3,683株

## IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、30,353.66円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、2,316.21円であります。

以上

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成29年 7月 1日から  
平成30年 6月 30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売費	1,453,561
旅費	4,290,241
宣伝費	2,819,318
包装費	2,989,085
配達費	1,263,451
手数料	1,989,000
報償	9,630,650
福利	2,722,716
給付	1,633,198
厚生	804,958
減価	1,130,291
償却	216,000
用品	1,004,440
消耗品	381,837
通熱	409,028
課金	1,158,217
料	1,176,892
際	1,000
際	733,764
際	142,285
際	471,124
際	437,175
際	601,266
際	545,870
合計	38,005,367

製造原価報告書

平成29年 7月 1日から  
平成30年 6月 30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 材料	3,698,286
首材	17,758,505
材仕	21,456,791
合	3,290,719
期	18,166,072
当	
II 労務	12,215,931
賃法	1,798,551
厚当	767,432
期	14,781,914
III 経費	2,845,042
電ガ	51,462
水減	136,778
修	2,676,416
租	638,324
保	1,320,788
消	261,075
雑	1,776,254
当	300,000
期	10,006,139
当	42,954,125
期	0
合	42,954,125
期	498,675
当	42,455,450

たな卸資産の計算内訳

平成30年 6月 30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商製	809,145
半原	7,855,897
仕掛	27,386,576
貯蔵	3,290,719
品	498,675
蔵	2,959,749
計	42,800,761

## 株式会社よしかわ杜氏の郷 第21期事業方針及び事業計画について

### 1 事業方針

弊社は、越後杜氏、くびき杜氏の支流源の一つである「よしかわ杜氏」が育んだ、元禄4年から続く酒造りの歴史をもとに、地元よしかわ産の「五百万石」や「山田錦」の酒米と、ブナ林の伏流水、よしかわ杜氏の技術など潤沢で高品質な地域資源を有し、酒蔵としては創業1999年と後発であるが、コメ・水・技の全てをよしかわで完結した日本酒を製造しています。

酒造業界においては、若者を中心に日本酒離れが一層進み、加えて人口減少や代替品との競争により日本の国内清酒消費量は縮小傾向が続いています。

加えて、来年の消費税率アップを見据え、市場動向を先取りした対応が求められます。

良質な日本酒の製造はもちろんのこと、マーケットに受け入れられるためラベル・器などを見直し、視覚に訴える商品構成等に取り組みや、酒蔵と店舗が一体的来場動機付けにイベントの開催、立ち寄り来場者アップのために旅行会社への営業強化を行います。

あわせて、数年来売上が低迷している状況下において永続的な会社経営を行うため、今後の経営形態について地域の想いと会社のあり方について関係機関を含め検討いたします。

### 2 事業計画

#### (1) 安定的な取引基盤の確立

- ①生協・市・JA等の組織団体へ魅力ある商品構成による販売促進
- ②卸会社・小売店への販売強化
- ③地元及び、小売店舗へのルートセールスの拡充

④試飲会やイベントでのプロモーションを通じたネットワークの形成

(2) 新たな需要開拓に向けた企画立案

①定番商品に加え、ターゲット別企画商品の造成

②デパート等ネットワークを活用したマーケットの構築

③製造種類の整理と新デザインによるブランディング

④雪室仕込みの商品構成の充実と販売先の開拓

⑤大手通販サイトとの取引拡大

(3) 店舗売上向上の推進

①観光酒蔵としての魅力度の向上

②立ち寄り団体集客のため近隣ホテルとのタイアップと旅行会社への  
営業強化

③定例的なイベントの開催と情報発信による訴求力の向上

(4) 情報の発信

①リアルタイムな情報の発信

②ネットショッピングページの充実

③販売促進作成物の作成とメディアへの告知

(5) 組織の活性化

①会社設立理念に基づく永続的な経営形態のための調査研究

②社員間の連携と情報の共有化

③損益計画目標に対しての検証と実行

**3 目標変動損益計算書**

目標変動損益計算書  
第21期(平成30年7月1～平成31年3月31日)

(単位:千円)

項目	内訳	当期計画	構成比	構成比	平成30年6月30日決算		
売上高	酒部門	58,500	83.1%		73,766	79.8%	
	売店部門	8,200	11.7%		11,503	12.4%	
	その他部門	3,663	5.2%		7,175	7.8%	
	売上合計	70,363	100.0%		92,444	100.0%	
変動費	期首棚卸高	39,842			47,911		
	商品仕入高	5,922			7,809		
	酒税	4,358			5,961		
	材料仕入高	14,223			17,759		
	消耗品費	1,544			1,776		
	期末棚卸高	40,201			39,841		
	変動費合計	25,688	36.5%		41,374	44.8%	
限界利益	酒部門	38,142	65.2%		39,871	54.1%	
	売店部門	2,870	35.0%		4,023	35.0%	
	その他部門	3,663	100.0%		7,175	100.0%	
	限界利益合計	44,675	63.5%	100.0%	51,069	55.2%	100.0%
固定費	役員報酬	1,476			1,989		
	給与・賞与、雑給与、賃金	17,677			24,569		
	法定福利費、厚生費	3,812			5,004		
	人件費合計	22,965	32.6%	51.4%	31,562	34.1%	61.8%
	製造経費	3,830			4,654		
	販売管理費	14,279			18,731		
	営業外収益	-665			-1,706		
	その他固定費計	17,444			21,679		
	減価償却費	2,835			3,806		
	保険料・維持費	1,084			2,262		
	設備費計	3,919			6,068		
	固定費計	44,328			59,309		
経常利益		347	0.5%		-8,240		



## 前期比較決算書

自 平成 29 年 7 月 1 日  
至 平成 30 年 6 月 30 日

株式会社 よしかわ杜氏の郷

## (株)よしかわ杜氏の郷 前期比較貸借対照表

		H30年6月末	前年同月との比較		
			H29年6月末	増減額	増減率
流動資産	現金及び預金	12,866,404	13,918,558	-1,052,154	-7.6%
				0	
	現預金 計	12,866,404	13,918,558	-1,052,154	-7.6%
	売掛金	8,162,181	7,679,719	482,462	6.3%
	電子記録債権	451,406	492,067	-40,661	-8.3%
	たな卸資産	42,800,761	50,434,175	-7,633,414	-15.1%
				0	
	棚卸資産 計	42,800,761	50,434,175	-7,633,414	-15.1%
	前払費用	174,996	123,970	51,026	41.2%
	未収入金	18,574	16,885	1,689	10.0%
	未収還付法人税等	233	5,533	-5,300	-95.8%
	前渡金	0	137,579	-137,579	-100.0%
	貸倒引当金	0	0	0	
その他の流動資産	31,239	0	31,239		
流動資産 計	64,505,794	72,808,486	-8,302,692	-11.4%	
固定資産	建物	36,953,309	38,231,744	-1,278,435	-3.3%
	構築物	2,948,169	3,147,814	-199,645	-6.3%
	機械及び装置	3,483,990	4,442,638	-958,648	-21.6%
	車両運搬具	2	2	0	0.0%
	工具器具備品	313,040	422,967	-109,927	-26.0%
	土地	15,898,270	15,898,270	0	0.0%
	リース資産	1,478,146	1,122,198	355,948	31.7%
				0	
	有形固定資産 計	61,074,926	63,265,633	-2,190,707	-3.5%
	著作権			0	
	電話加入権	40,000	40,000	0	0.0%
	ソフトウェア	386,667	502,667	-116,000	-23.1%
	無形固定資産 計	426,667	542,667	-116,000	-21.4%
	投資有価証券	50,000	50,000	0	0.0%
	出資金	60,000	60,000	0	0.0%
長期前払費用	0	0	0		
リサイクル預託金	17,530	17,530	0	0.0%	
			0		
投資その他の資産 計	127,530	127,530	0	0.0%	
固定資産 計	61,629,123	63,935,830	-2,306,707	-3.6%	
繰延資産	水道負担金	0	0	0	
	集落排水分担金	0	0	0	
繰延資産 計	0	0	0		
資産 計	126,134,917	136,744,316	-10,609,399	-7.8%	
流動負債	買掛金	1,038,114	1,487,934	-449,820	-30.2%
	1年以内返済長期借入金	2,436,000	2,436,000	0	0.0%
	未払金	3,024,563	2,882,323	142,240	4.9%
	未払法人税等	290,000	290,000	0	0.0%
	未払消費税等	1,678,000	1,227,200	450,800	36.7%
	前受金	7,690	10,107	-2,417	-23.9%
	預り金	0	0	0	
			0		
流動負債 計	8,474,367	8,333,564	140,803	1.7%	
固定負債	長期借入金	4,286,000	6,722,000	-2,436,000	-36.2%
	長期未払金	1,581,984	1,365,552	216,432	15.8%
			0		
固定負債 計	5,867,984	8,087,552	-2,219,568	-27.4%	
負債 計	14,342,351	16,421,116	-2,078,765	-12.7%	
資本金	184,150,000	184,150,000	0	0.0%	
資本剰余金剰余金	0	0	0		
利益剰余金	繰越利益剰余金	-72,357,434	-63,826,800	-8,530,634	13.4%
				0	
利益剰余金 計	-72,357,434	-63,826,800	-8,530,634	13.4%	
純資産 計	111,792,566	120,323,200	-8,530,634	-7.1%	
負債・純資産の部 計	126,134,917	136,744,316	-10,609,399	-7.8%	



(株)よしかわ杜氏の郷 前期比較損益計算書

		平成30年6月	前年同月との比較		
			平成29年6月	増減額	増減率
売上高	酒造部門売上高	73,765,892	71,009,454	2,756,438	103.9%
	アイス部門売上高	0	2,336,695	-2,336,695	0.0%
	売店部門売上高	11,503,191	11,394,386	108,805	101.0%
	その他部門、値引き	7,175,539	7,531,661	-356,122	95.3%
	計	92,444,622	92,272,196	172,426	100.2%
売上原価	期首たな卸高	44,212,925	43,137,270	1,075,655	102.5%
	商品仕入高	7,808,775	8,262,643	-453,868	94.5%
	酒税	5,960,700	5,191,600	769,100	114.8%
	当期製品製造原価	42,455,450	44,847,647	-2,392,197	94.7%
	期末たな卸高	36,051,618	44,212,925	-8,161,307	81.5%
計	64,386,232	57,226,235	7,159,997	112.5%	
売上総利益		28,058,390	35,045,961	-6,987,571	80.1%
販売費及び一般管理費	役員報酬	1,989,000	2,361,000	-372,000	84.2%
	給料・賞与	9,630,650	10,077,926	-447,276	95.6%
	雑給与	2,722,716	2,667,588	55,128	102.1%
	給料計	14,342,366	15,106,514	-764,148	94.9%
	法定福利費	1,633,198	1,725,835	-92,637	94.6%
	厚生費	804,958	778,214	26,744	103.4%
	人件費計	16,780,522	17,610,563	-830,041	95.3%
	販売員旅費	1,453,561	1,589,507	-135,946	91.4%
	広告宣伝費	4,290,241	3,890,073	400,168	110.3%
	容器包装費	2,819,318	2,207,344	611,974	127.7%
	発送配達費	2,989,085	3,076,401	-87,316	97.2%
	支払手数料	1,263,451	1,202,796	60,655	105.0%
	減価償却費	1,130,291	1,010,944	119,347	111.8%
	リース料	216,000	216,000	0	100.0%
	修繕費	1,004,440	220,129	784,311	456.3%
	事務用消耗品費	381,837	483,962	-102,125	78.9%
	通信交通費	409,028	434,886	-25,858	94.1%
	水道光熱費	1,158,217	1,203,070	-44,853	96.3%
	租税公課	1,176,892	893,924	282,968	131.7%
	寄付金	1,000	1,000	0	100.0%
	接待交際費	733,764	746,017	-12,253	98.4%
	保険料	142,285	94,076	48,209	151.2%
	備品消耗品費	471,124	360,519	110,605	130.7%
	燃料費	437,175	378,549	58,626	115.5%
	諸会費	601,266	611,687	-10,421	98.3%
	貸倒償却	0	2,798,340	-2,798,340	0.0%
	雑費	545,870	259,100	286,770	210.7%
計	38,005,367	39,288,887	-1,283,520	96.7%	
営業利益		-9,946,977	-4,242,926	-5,704,051	234.4%
営業外収益	受取利息	78	91	-13	85.7%
	為替差益	6	69	-63	8.7%
	受取配当金	1,101	1,092	9	100.8%
	雑収入	1,779,689	803,457	976,232	221.5%
	計	1,780,874	804,709	976,165	221.3%
営業外費用	支払利息	74,531	97,682	-23,151	76.3%
	繰延資産償却			0	
	為替差損			0	
	雑損失	0	280,952	-280,952	0.0%
	計	74,531	378,634	-23,151	19.7%
経常利益		-8,240,634	-3,816,851	-4,423,783	215.9%
特別利益		0	0	0	
	計	0	0	0	
特別損失	固定資産除却損			0	
	リース解約損		250,501		0.0%
計	0	250,501	0	0.0%	
税引前当期純利益		-8,240,634	-4,067,352	-4,173,282	202.6%
法人税等		290,000	290,000	0	100.0%
当期純利益		-8,530,634	-4,357,352	-4,173,282	195.8%